

第2回 新しい国際コンテナ戦略港湾政策の進め方検討委員会

令和5年2月24日
新しい国際コンテナ戦略港湾政策の
進め方検討委員会
(第2回) 資料1-3

横浜港における 国際コンテナ戦略港湾の取組について

2023年2月24日(金)

横浜市港湾局長 中野 裕也

あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



目次

- 1 横浜港の概要
- 2 横浜港の競争力強化
- 3 創貨の取組
- 4 集貨の取組
- 5 DXの導入
- 6 働きやすい港湾の環境整備
- 7 カーボンニュートラルポートの形成

1 横浜港の概要



あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



1 横浜港の概要

■ 横浜港の港勢

<2022年(推計)>

総隻数: 30,460隻(推計)

(前年比101.5%)

外航船: 8,202隻(推計)

(前年比95.9%)

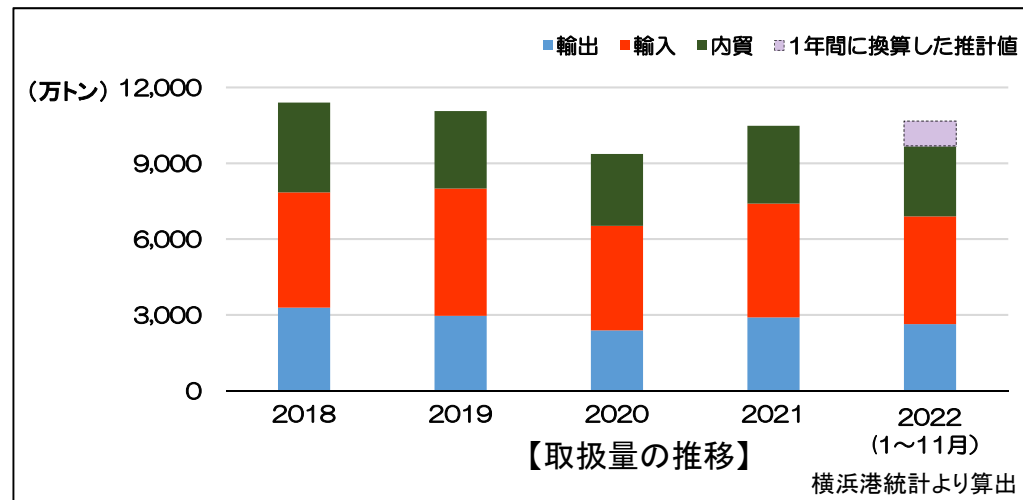
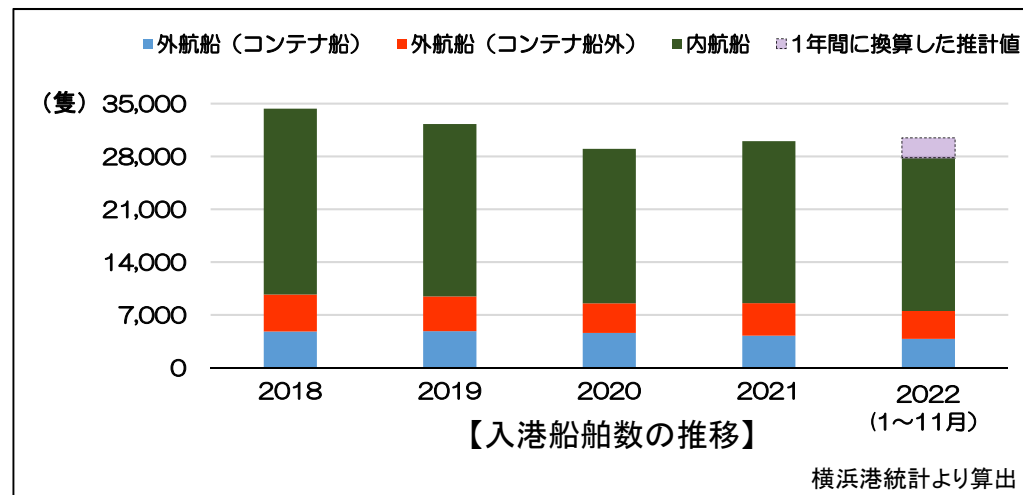
総取扱量: 10,668万トン

(推計)

(前年比101.8%)

外貿: 7,584万トン(推計)

(前年比102.5%)



あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



1 横浜港の概要

■コンテナ貨物量

<2022年(推計)>

総量：4,294万トン(推計)

(前年比103.2%)

総個数：298万TEU(推計)

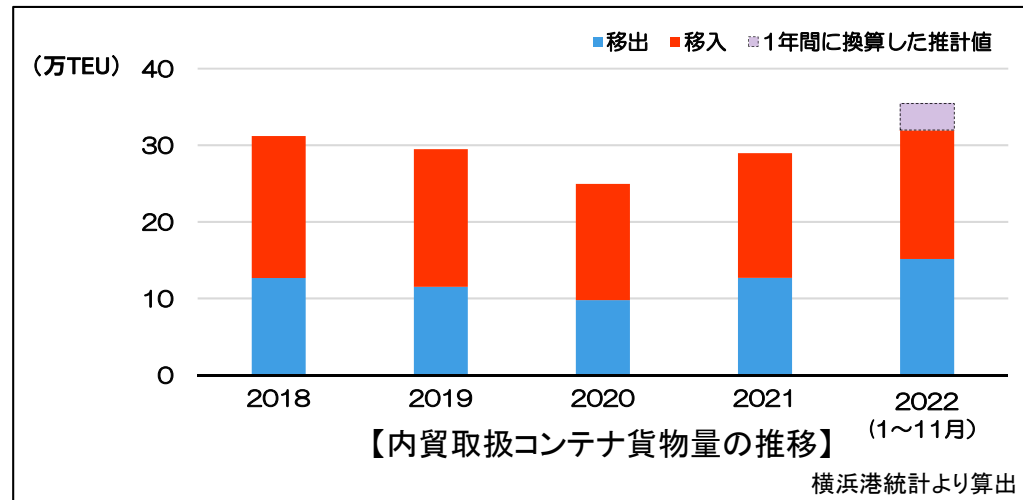
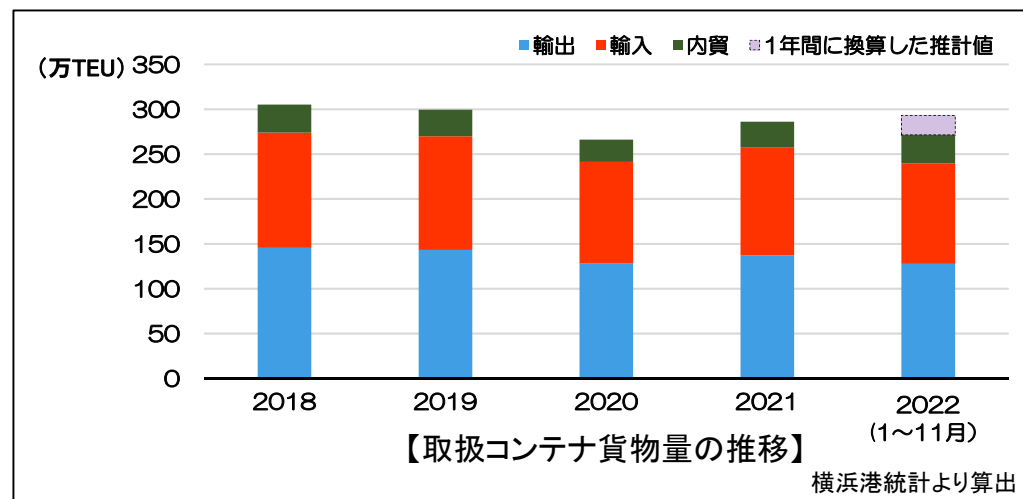
(前年比104.2%)

外貿：263万TEU(推計)

(前年比102.2%)

内貿：35万TEU(推計)

(前年比122.4%)



あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

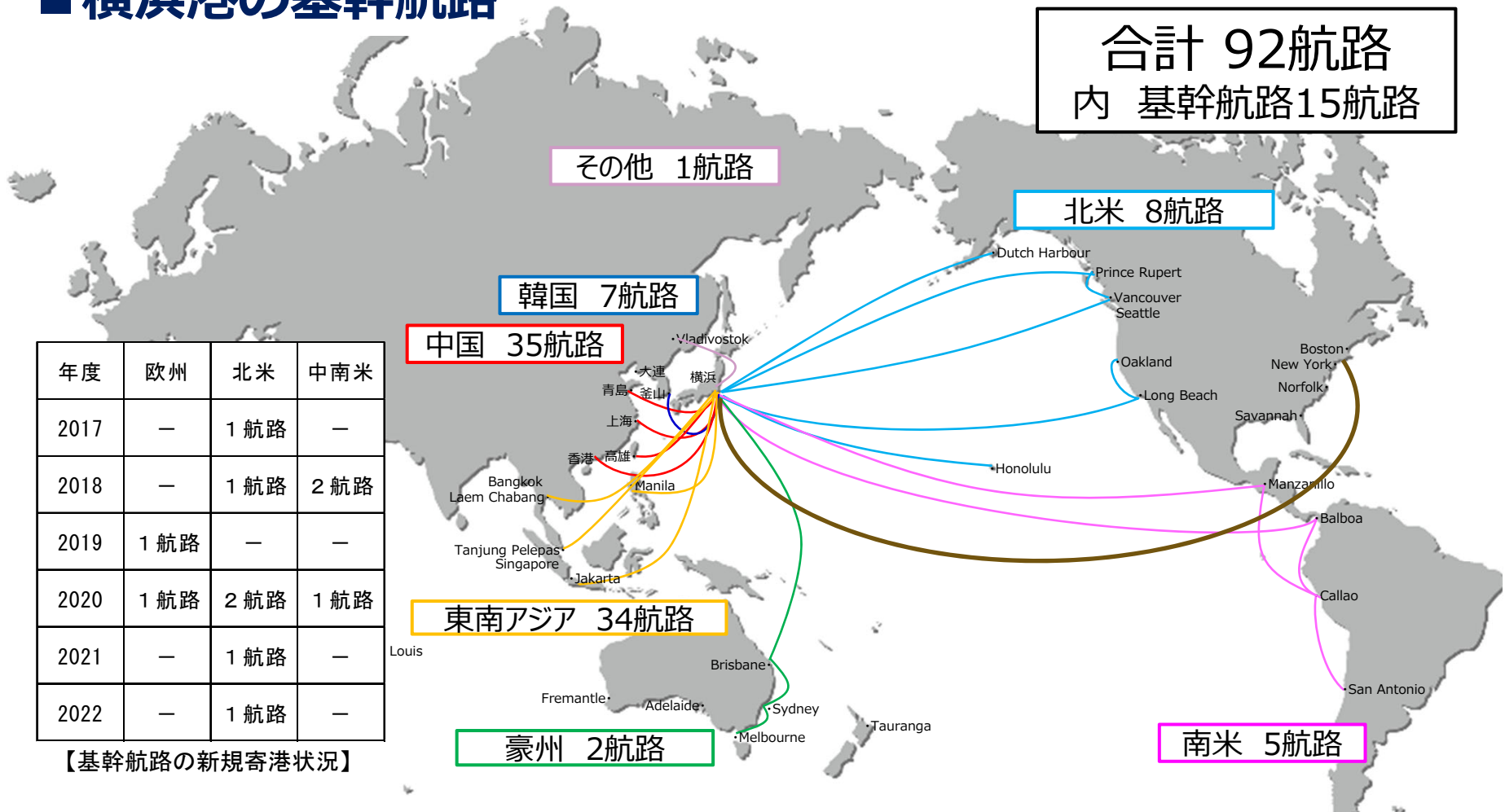
City of YOKOHAMA



1 横浜港の概要

■ 横浜港の基幹航路

合計 92航路
内 基幹航路15航路



年度	欧州	北米	中南米
2017	—	1 航路	—
2018	—	1 航路	2 航路
2019	1 航路	—	—
2020	1 航路	2 航路	1 航路
2021	—	1 航路	—
2022	—	1 航路	—

【基幹航路の新規寄港状況】

2023年3月に北米東岸が追加予定

2023年2月24日時点

あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



1 横浜港の概要

■ 国内主要港における基幹航路の状況

港湾名 (時点)	横浜 (2023.1)	東京 (2023.1)	大阪 (2023.1)	神戸 (2023.1)	名古屋 (2023.1)
北米西岸	7	8	3	4	3
北米東岸	0(1)	0	0	0	0
欧州	0	0	0	1	1
南米	5	0	0	0	0
豪州・NZ	2	1	1	1	0
アフリカ	0	0	0	0	0
合計	14(1)	9	4	6	4

※ 北米東岸は2023年3月に追加予定

1 横浜港の概要

■ 基幹航路の取扱量

<2022年(推計)>

取扱量: 65万TEU(推計)

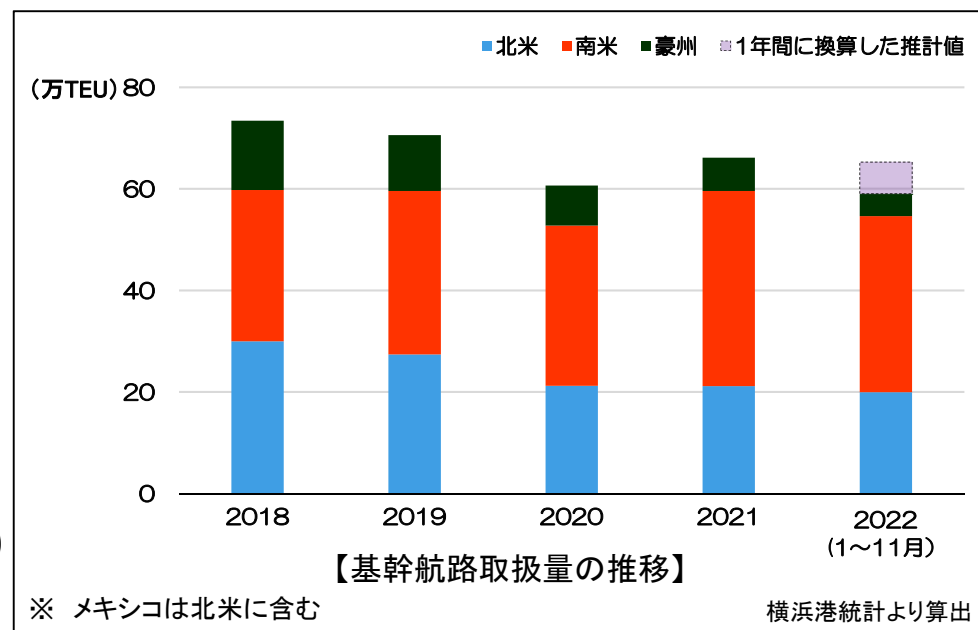
(前年比98.7%)

うち 北米: 22万TEU(推計)

(前年比102.4%)

南米: 38万TEU(推計)

(前年比100.0%)



あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



1 横浜港の概要

■南米航路のコンテナ取扱貨物量

<2022年(推計)>

取扱量: 38万TEU(推計)

(2018年比129.1%)

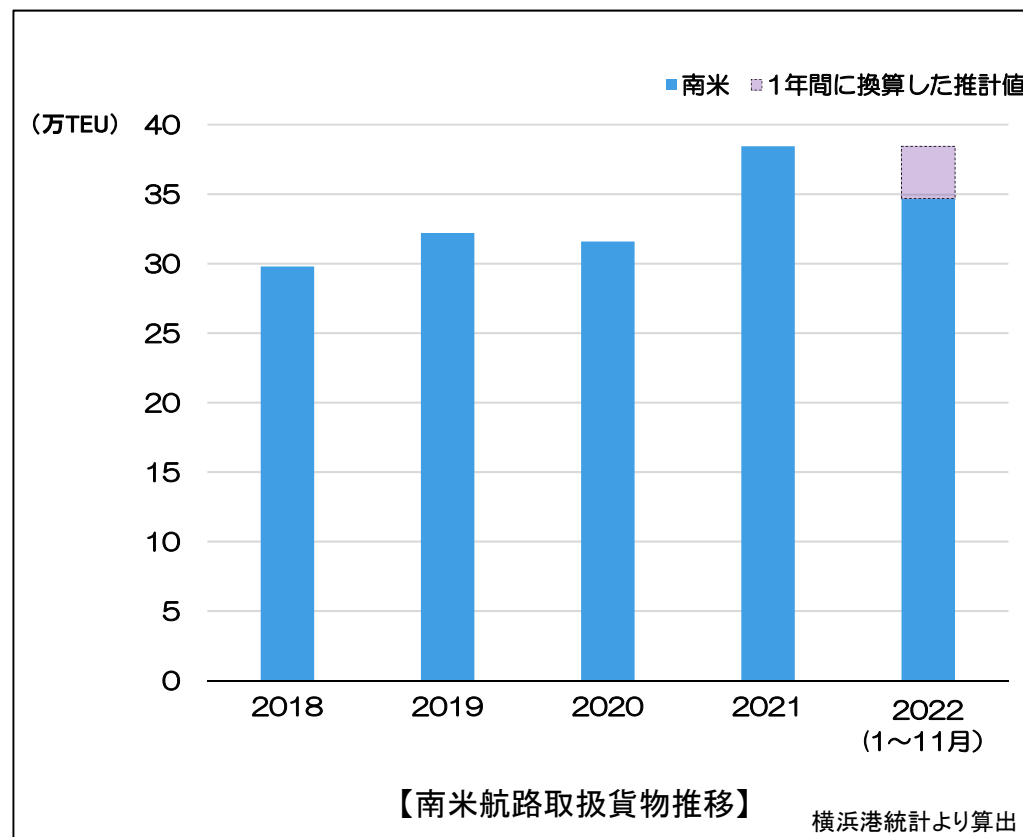
実入コンテナ貨物内訳

輸出: 9万TEU(推計)

(2018年比76.5%)

輸入: 15万TEU(推計)

(2018年比173.5%)



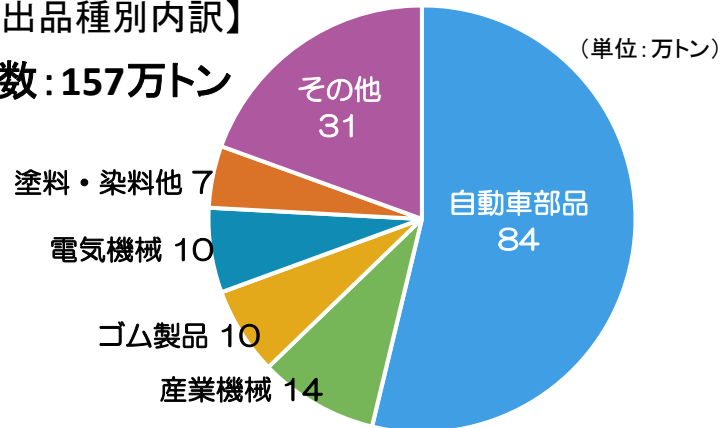
1 横浜港の概要

■南米航路のコンテナ輸出入品種別推移

<2022年（推計）品種別内訳>

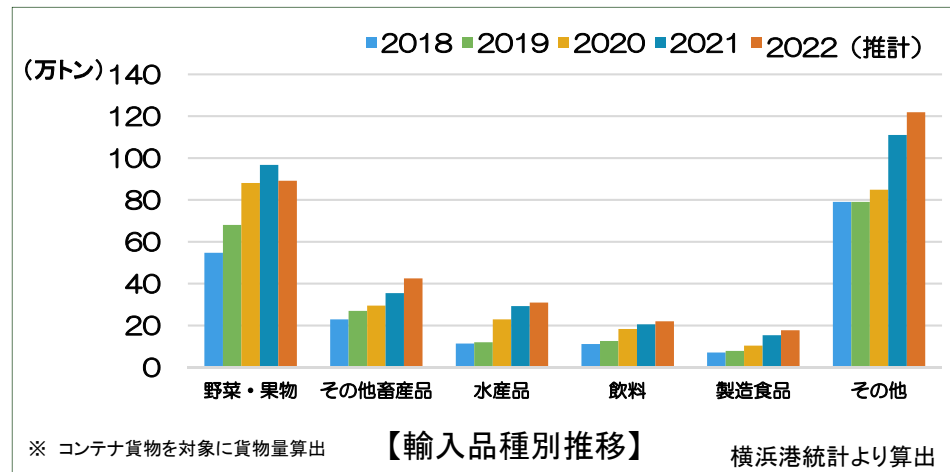
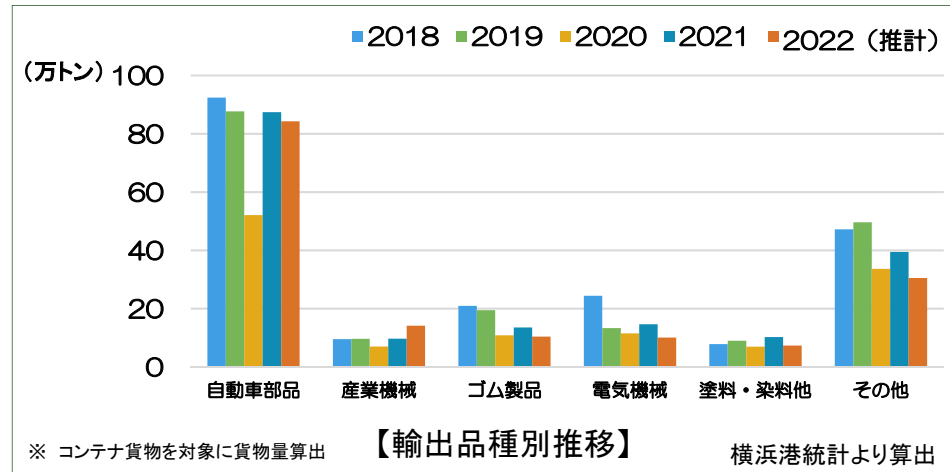
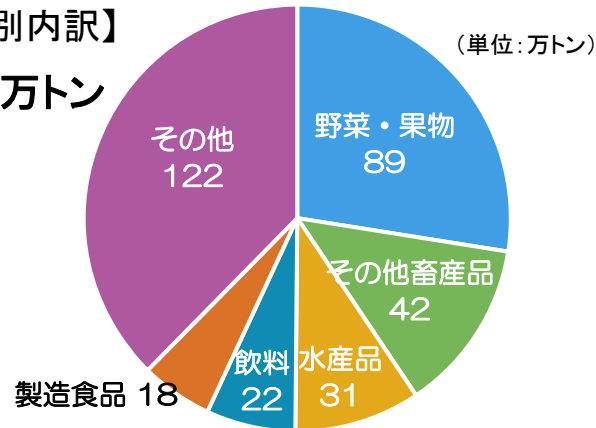
【輸出品種別内訳】

総数：157万トン



【輸入品種別内訳】

総数：324万トン



あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



1 横浜港の概要

■ 南米航路の詳細

船社	ループ	寄港 ターミナル	TEU型		寄港地
			最大	平均	
CMA CGM COSCO Evergreen	ACSA1 WSA4	本牧ふ頭D 4	15,536TEU	12,416TEU	蛇口 - 香港 - 高雄 - 寧波 - 上海 - 釜山 - マンザニコ - ラザカルデナス - ブイバントゥラ - 加オ - ポリル - ラザカルデナ ス - マンザニコ - 横浜 - 釜山 - 蛇口
CMA CGM COSCO Evergreen	ACSA2 WSA3	本牧ふ頭BC	10,060TEU	8,622TEU	廈門 - 上海 - 青島 - 釜山 - インサダ - マンザニコ - 加オ - ラケイン - サアントコ - マンザニコ - インサダ - 横浜 - 上海 - 廈門
Maersk Hamburg Sud (Seven Seas)	AC2 / ASPA2 AC3 / ASPA3	南本牧ふ頭 MC 1 ~ 4	9,971TEU	9,097TEU	AC2/ASPA2: 香港 - 塩田 - 寧波 - 上海 - 青島 - 釜山 - 横浜 - マンザニコ - ラザカルデナス - グアヤル - バルバア - マンザニコ - 釜山 - 上海 - 寧波 - 釜山 AC3/ASPA3: 釜山 - 上海 - 寧波 - 釜山 - バルバア - ブイバントゥラ - 加オ - プィルトンカモス - サアントコ - タラカ - 香港 - 塩田 - 寧波 - 上海 - 青島 - 釜山 - 横浜
Hapag HMM MSC ONE	AN2 NW2 Andes Express ALX2	南本牧ふ頭 MC 1 ~ 4	15,000TEU	12,951TEU	上海 - 廈門 - 蛇口 - 香港 - 寧波 - 釜山 - マン ザニコ - ラザカルデナス - ロッドマン - ブイバントゥラ - 加オ - サ アントコ - コル - ラケイン - サアントコ - プィルトンカモ ス - 加オ - マンザニコ - 横浜 - 釜山 - 上海
Hapag HMM MSC ONE	AME1 NW3 Aztec Service ALX3	南本牧ふ頭 MC 1 ~ 4	11,923TEU	9,613TEU	寧波 - 上海 - 青島 - 釜山 - 横浜 - インサダ - マ ンザニコ - プィルトツアル - ロッドマン - ブイバントゥラ - 加オ - ク アヤル - ブイバントゥラ - ロッドマン - ラザカルデナス - マ ンザニコ - インサダ - 横浜 - 釜山 - 寧波

あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

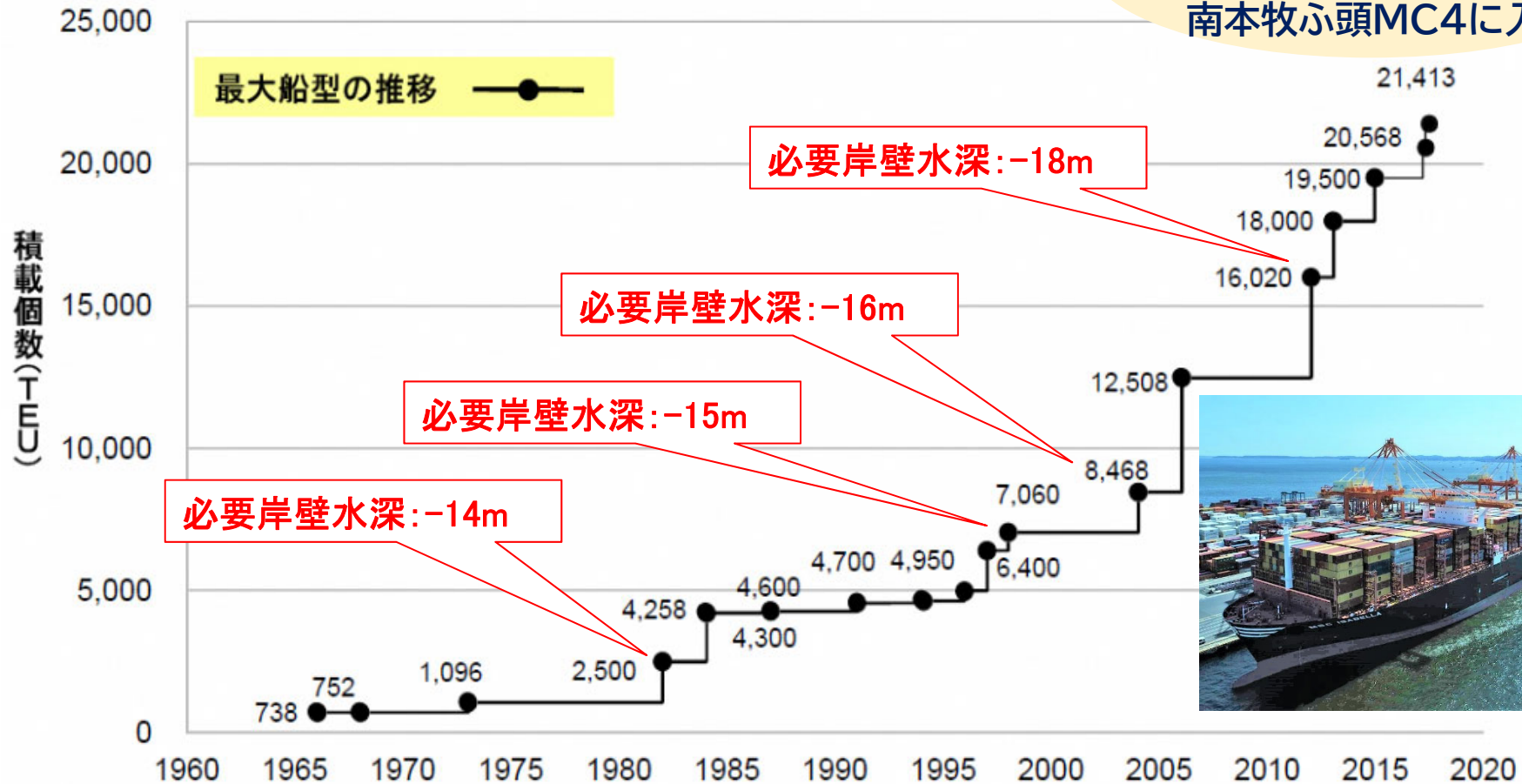
City of YOKOHAMA



1 横浜港の概要

■ コンテナ船の超大型化

2022年3月
MSC ISABELLA
(積載TEU:23, 656TEU)
南本牧ふ頭MC4に入港



あうたびに、あたらしい

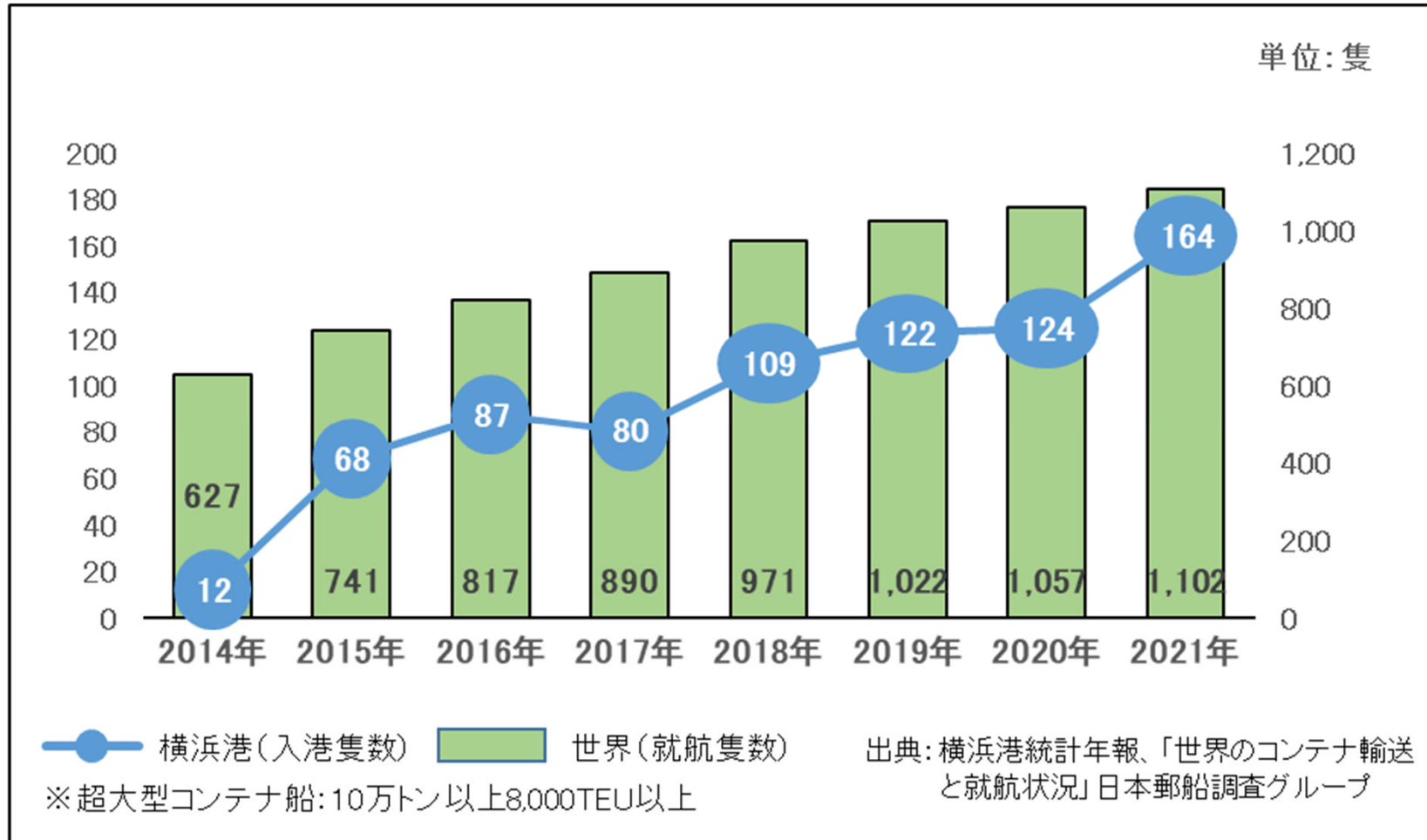
Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



1 横浜港の概要

■ 横浜港の超大型コンテナ船※の入港隻数と世界の就航隻数の推移



あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



1 横浜港の概要

■ 国際コンテナ戦略港湾の推進 ⇒ 基幹航路の維持・拡大

- 我が国の貿易量の99.6%は海運によるものであり、定期航路におけるコンテナ化率は90.8%を超える
- グローバルサプライチェーンを支える国際基幹航路の我が国への寄港を維持・拡大し、
企業の立地環境を向上させ、我が国経済の国際競争力を強化

【主な取組】

- 国際コンテナ戦略港湾政策推進WGも活用し政策効果等を検討しつつ、ハード整備を引き続き推進。
- また、既存ストックを最大限活用する観点から、AIの活用等による港湾物流の生産性向上に重点化。

国際コンテナ戦略港湾の「競争力強化」	国際コンテナ戦略港湾背後への産業集積による「創貨」	国際コンテナ戦略港湾への「集貨」
<ul style="list-style-type: none"> ○コンテナ船の大型化や取扱貨物量の増大等に対応した大水深コンテナターミナルの機能強化 ○良好な労働環境と世界最高水準の生産性を確保するため、「ヒトを支援するAIターミナル」を実現 	<ul style="list-style-type: none"> ○荷さばき、流通加工、保管等の複合機能を有する物流施設のコンテナターミナル近傍への立地を促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○国内外とのフィーダー航路網の強化の促進

※令和4年国際コンテナ戦略港湾政策推進WG（第4回）より一部抜粋

■ 横浜港の取組

<ul style="list-style-type: none"> ●横浜川崎国際港湾株式会社(YKIP)の設立(2016.1) 		
<ul style="list-style-type: none"> ●南本牧、新本牧ふ頭における高規格・大水深コンテナターミナルの整備 	<ul style="list-style-type: none"> ●本牧、南本牧、新本牧ふ頭におけるロジスティクス拠点形成の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ●国の負担金支援によるYKIPの航路網拡充等の集貨活動 ●国際フィーダー網の拡充

あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



2 横浜港の競争力強化



あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



2 横浜港の競争力強化

■ 南本牧ふ頭コンテナターミナルの整備

○我が国最大唯一の水深-18m、延長1,600mの岸壁

○横浜スタジアム約135個分のヤード面積

⇒世界最大の超大型コンテナ船の受入が可能

○2021年より一体運用を開始し、多方面の航路の船舶が船型やスケジュールなどに応じ、施設全体を柔軟に利用できる画期的な運用が実現

⇒一体運用前と比較して（2020年度と2021年度の比較）、コンテナ貨物取扱個数で約4割、国際積み替え貨物が約5割増加



南本牧ふ頭に寄港する超大型コンテナ船
（「MSC ELOANE」19,462TEU 級）

あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



2 横浜港の競争力強化



あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

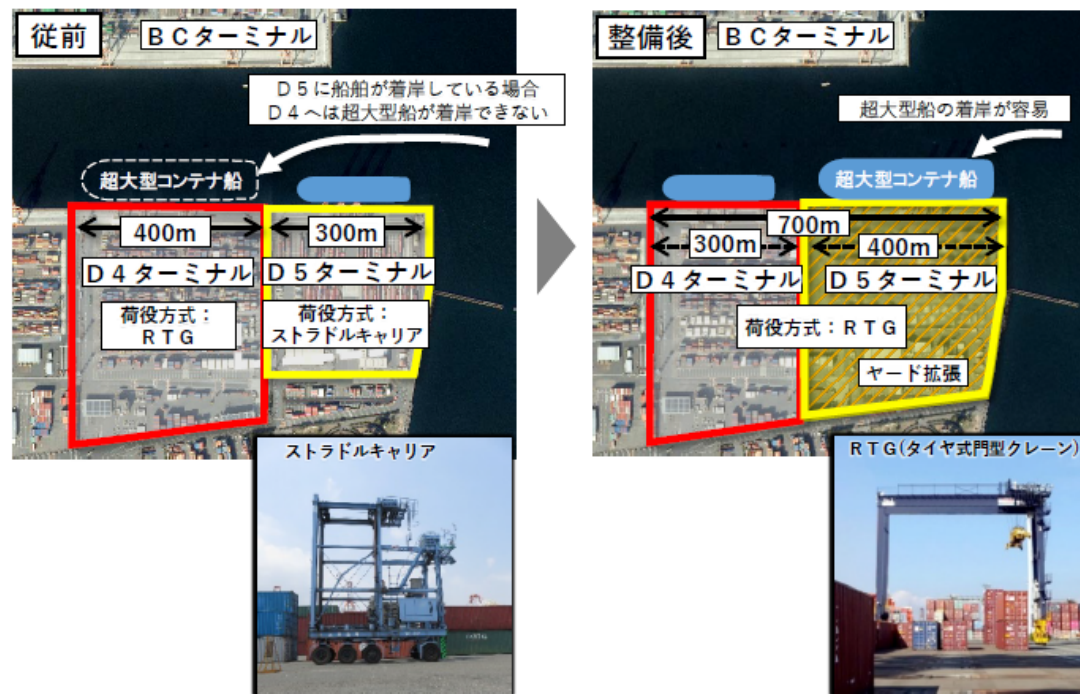
City of YOKOHAMA



2 横浜港の競争力強化

■ 本牧ふ頭コンテナターミナルの再整備（2021年度から事業開始）

- 現状、D5ターミナルに船舶が着岸している場合に、D4ターミナルへの超大型船の着岸ができないため、D4・D5の一体運用を進める。
- ヤードの拡張等の再整備を実施
- D5ターミナルの荷役方式をストラドルキャリアから、生産性の高いRTG（タイヤ式門型クレーン）に転換



本牧ふ頭に寄港する超大型コンテナ船
「CMA CGM ARGENTINA」15,074TEU
南米航路
(2023年1月15日寄港)

あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



2 横浜港の競争力強化



あうたびに、あたらしい
Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



2 横浜港の競争力強化

■ 新本牧ふ頭の整備 (2021年度から埋立開始)

- 水深-18m以上、延長1000mの岸壁を持つ高規格コンテナターミナル
- 高度な流通加工機能を有するロジスティクス施設
- これらを一体的に配置した最新鋭の物流拠点の形成を目指す。



【 新本牧ふ頭整備イメージ図 】

水深 (-18m~)
延長 (1000m)

第2期地区
コンテナターミナル等
【約50ha】
事業者：国土交通省

第1期地区
ロジスティクス用地等
【約40ha】
事業者：市



あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



3 創貨の取組



あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

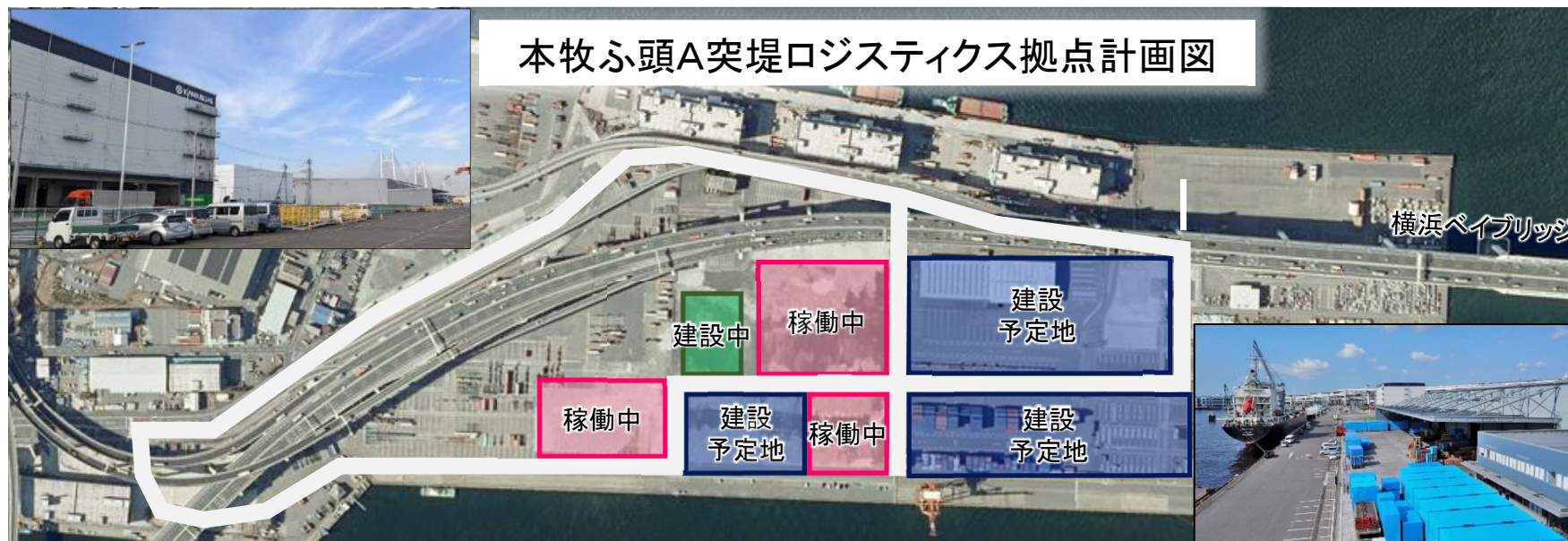
City of YOKOHAMA



3 創貨の取組

■ロジスティクス拠点の整備

- コンテナターミナルの近接地に流通加工や温度管理等の高機能な物流サービスを提供するロジスティクス施設を集積、現在は3棟が稼働し、1棟が建設中、2024年度までに10棟以上のロジスティクス施設が稼働予定
- 臨海部の物流拠点は、保税上の利便性や迅速な貨物の配送などの環境が整っており、輸送の効率化や雇用の確保などの点でも注目
- 横浜港では、生産拠点の海外移転なども踏まえ、これまで中心であった輸出貨物に加え、輸入貨物の取扱機能強化策としても推進



あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

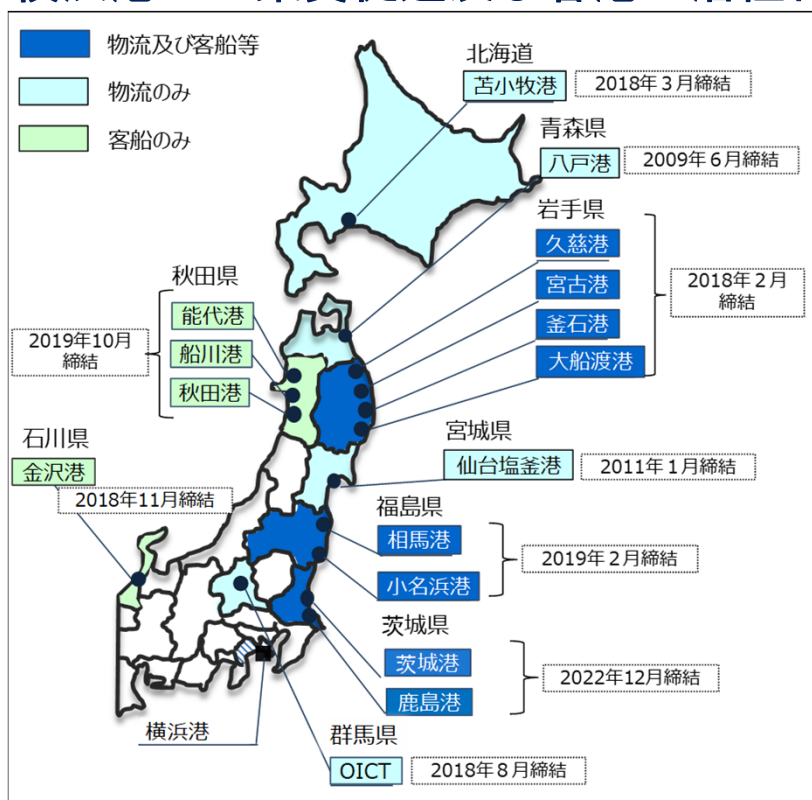
City of YOKOHAMA



4 集貨の取組

■ 国内港湾との連携による集貨の取組

- 東日本を中心に各港と連携し、国内航路網の拡充を推進
- 各港湾との共同の荷主営業や利用促進セミナーにおいて、横浜港のPRや連携した取組の紹介等を実施
- 横浜港への集貨促進及び各港の活性化につなげる



あうたびに、あたらしい
Find Your YOKOHAMA 【国内各港との連携】

City of YOKOHAMA



4 集貨の取組

■ 横浜港寄港の国際フィーダー航路

合計 28.8便/週



(2022年5月現在)

あうたびに、あたらしい
Find Your YOKOHAMA

4 集貨の取組

■ 横浜環状道路の整備



凡 例	
	横浜環状道路(事業中)
	横浜環状道路(供用済)
	横浜環状道路(計画中)
	自動車専用道路
	自動車専用道路(事業中)
	自動車専用道路(計画中)
	一般国道

- 横浜北線 2017年3月開通
- 横浜北西線 2020年3月開通
- 横浜環状南線・横浜湘南道路 事業中



あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

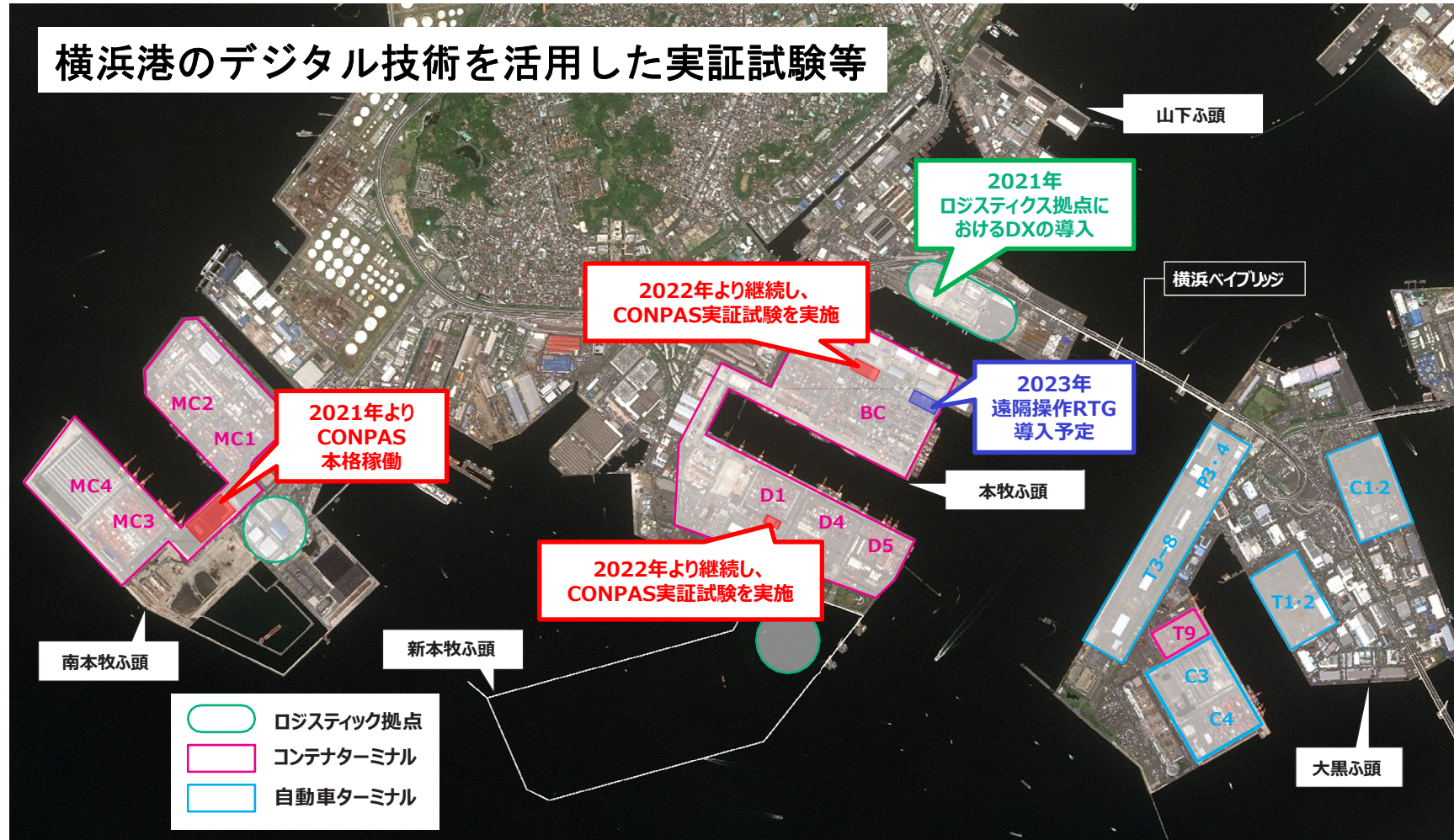
City of YOKOHAMA



5 DXの導入

■ 横浜港のDX推進

横浜港のデジタル技術を活用した実証試験等



あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

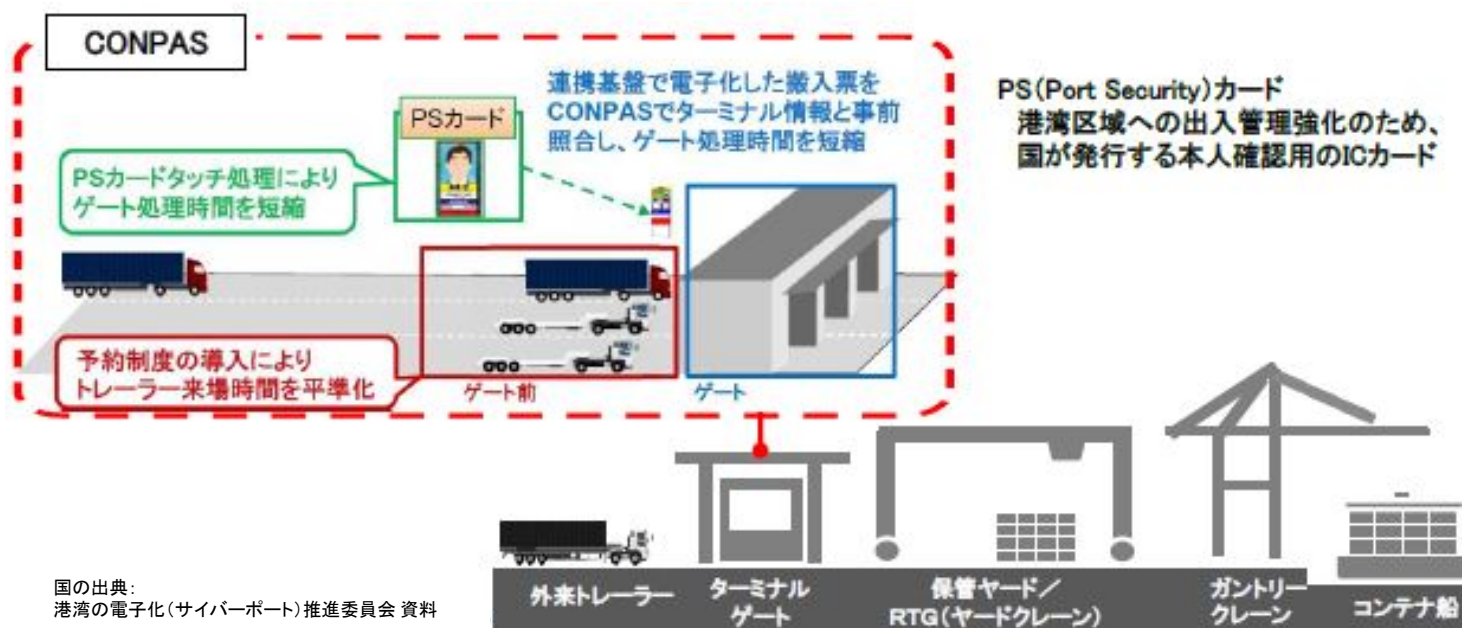
City of YOKOHAMA



5 DXの導入

■ 横浜港のCONPASの取組

- CONPASを我が国で初めて南本牧ふ頭で2021年から本格導入、これによりゲート前の平均待機時間が30分から7分となり大きな削減効果があり
- 2022年12月には南本牧ふ頭のCONPAS予約時間枠を8時30分に拡大（従来は搬入10時、搬出9時30分）予約枠が1,150台/日から1,400台/日に増加（搬入550台/日から700台/日、搬出600台/日から700台/日）
- 2023年度は本牧ふ頭BC及びD1ターミナルで国と連携して試験運用を実施



あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



5 DXの導入

■ 民間事業者におけるDXの導入

- 働きやすい快適な労働環境を創出し、人材確保につなげるため、現在本牧ふ頭BCターミナルではRTG（タイヤ式門型クレーン）について、管理棟からの遠隔操作の実証事業を行っており、2023年の本格稼働を目指している
- 民間事業者による荷役作業員を支援するデジタル技術（パレタイザー）の導入

遠隔操作RTGによる荷役作業

遠隔操作室内のオペレーター



快適

遠隔操作RTG



パレタイザー



【重量センサー等のデジタル技術の導入により、パレットの上に均一の荷姿で貨物を集積する設備（パレタイザー）の状況】

あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



6 働きやすい港湾の環境整備

■通勤支援の取組

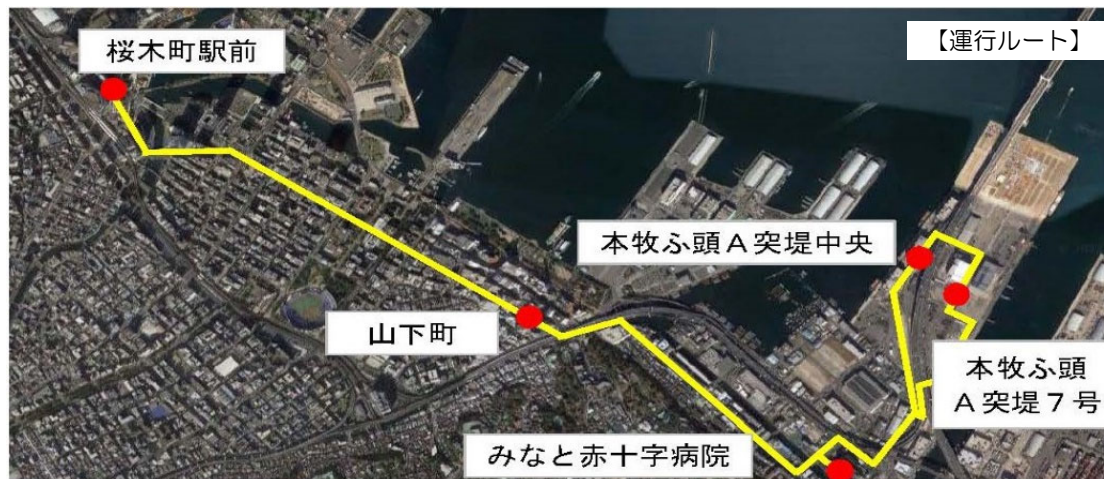
- 埠頭に通勤する方が利用する路線バス運行の支援を行うとともに、利用者の声を活かしながら、利用しやすいダイヤの見直し等を実施
横浜駅～大黒ふ頭間のバス路線に、座席数の多い観光バスタイプの車両による高速道路運行を導入することで、快適で早く通勤できる環境を整えていく
- ロジステイクス拠点の整備を進めている本牧ふ頭A突堤における通勤手段を確保するため、2022年4月より新規で市営バス路線を導入



【大黒ふ頭行きの路線に導入した観光バスタイプの車両】



【本牧ふ頭A突堤における市営バス路線】



あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



6 働きやすい港湾の環境整備

■ 港湾厚生施設の充実に向けた取組

- 港湾施設利用者の利便性向上を図るため、厚生施設の場所を掲載した「横浜港便利MAP」を埠頭ごとに作成し、ホームページなどに公表
- 埠頭再編に伴い、食堂や売店等の港湾厚生施設の再整備・改修・充実に向けた調査等を行い、女性も利用しやすい環境整備に取り組む



【横浜港便利MAP】



【女性の活躍が進む荷役作業現場】

あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



7 カーボンニュートラルポートの形成

■ 臨海部における民間事業者等と連携した取組 「Zero Carbon Yokohama」



2050年までの温室効果ガス実質排出ゼロの実現
2018年10月にゼロカーボンヨコハマを宣言

「ゼロカーボン市区町村協議会」
会長として、財務省・環境省に
提言書を提出 (2021年11月)

みなとみらい21地区「脱炭素
先行地域に選定」大都市におけ
る脱炭素モデル構築 (2022年4月)



岡本財務副大臣 (当時) (左から2番目)



山口環境大臣 (当時) (左から3番目)

あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA

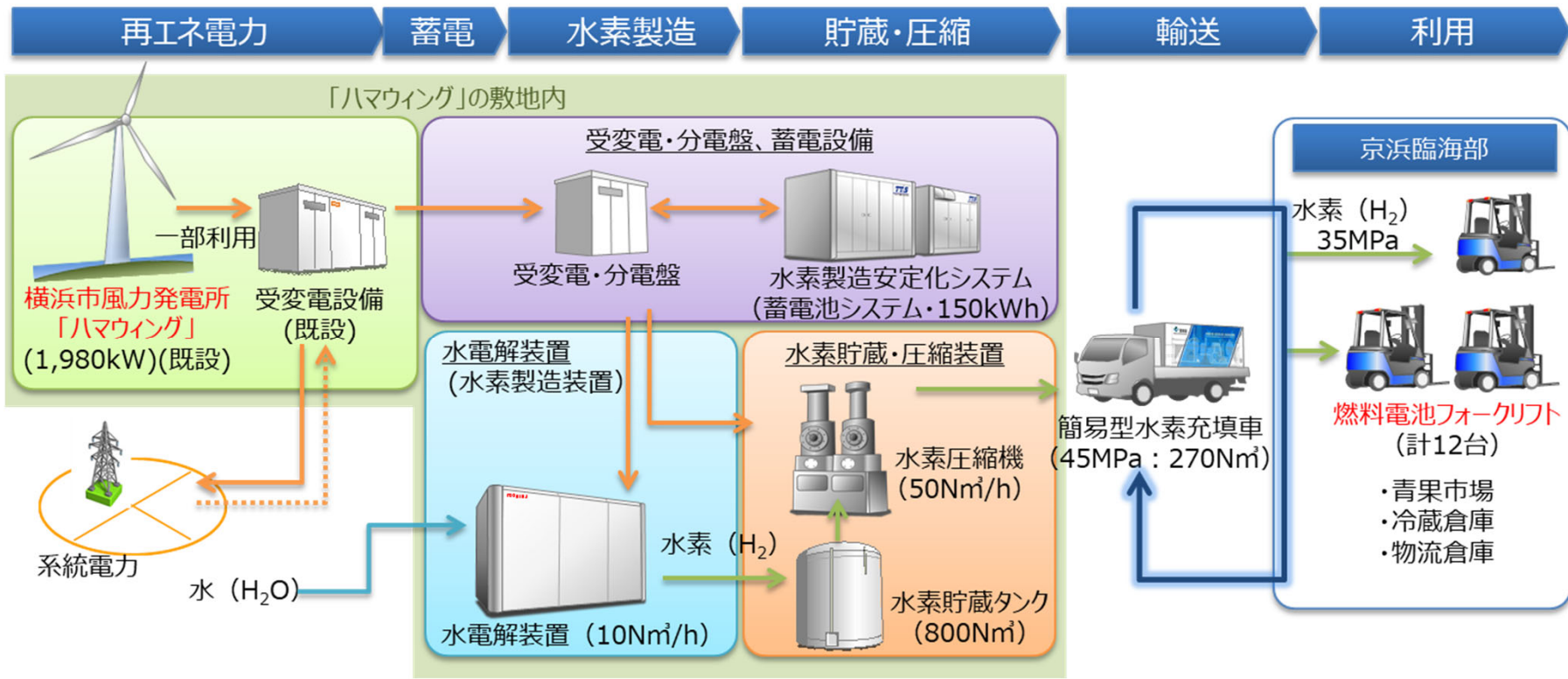


7 カーボンニュートラルポートの形成

■ 臨海部における民間事業者等と連携した取組

○ 風力発電による水素活用実証事業（2015～2020年度）

風力発電所ハマウイングにより製造した水素を燃料電池フォークリフトに使用する水素供給システムの実証実験



あうたびに、あたらしい
Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



7 カーボンニュートラルポートの形成

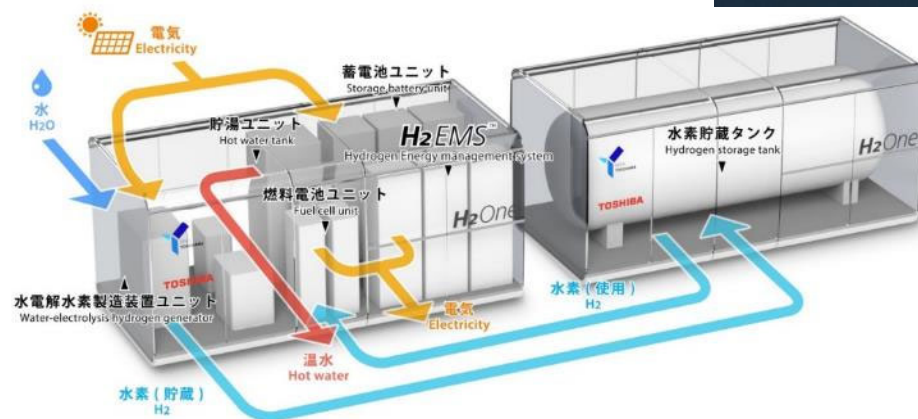
■ 臨海部における民間事業者等と連携した取組

○ 自立型水素燃料電池システム（2015年～継続）

太陽光パネルと自立型水素燃料電池を導入した電力ピークカットや、非常用電源活用の実証事業



屋上に太陽光パネルを設置。
(発電容量：約25kW)



【実証を通じた検証・検討内容】

- グリーン水素(設置当時はCO₂フリー水素と呼ぶ)の製造と供給
- 「ピークカット運転」可能性を実証
- 災害時の非常用電源としての利用可能性を実証

あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA

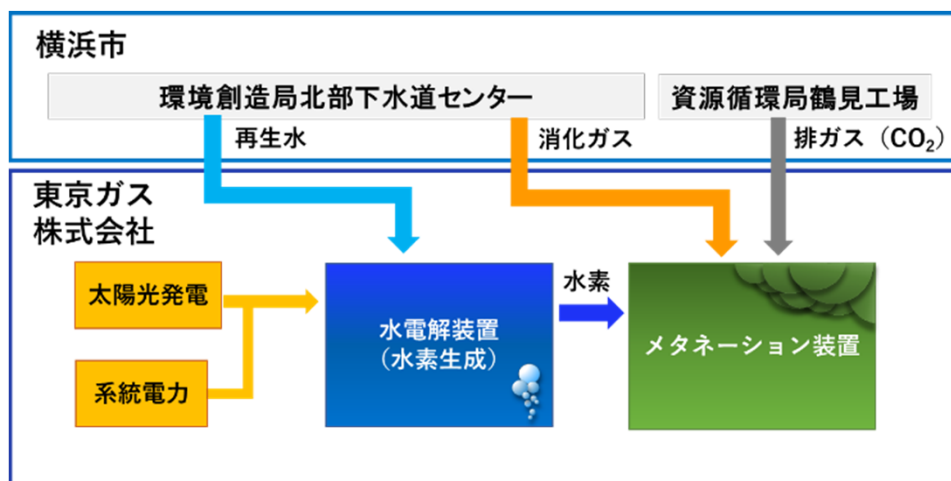


7 カーボンニュートラルポートの形成

■ 臨海部における民間事業者等と連携した取組

○メタネーションの実証試験（2022年～継続）

下水道センターやごみ焼却工場からバイオマス由来のCO₂等の資源を供給
都市ガスの主成分となるメタンを生成するメタネーションの実証試験



メタネーションの実証試験



末広脱炭素化モデル地区

あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

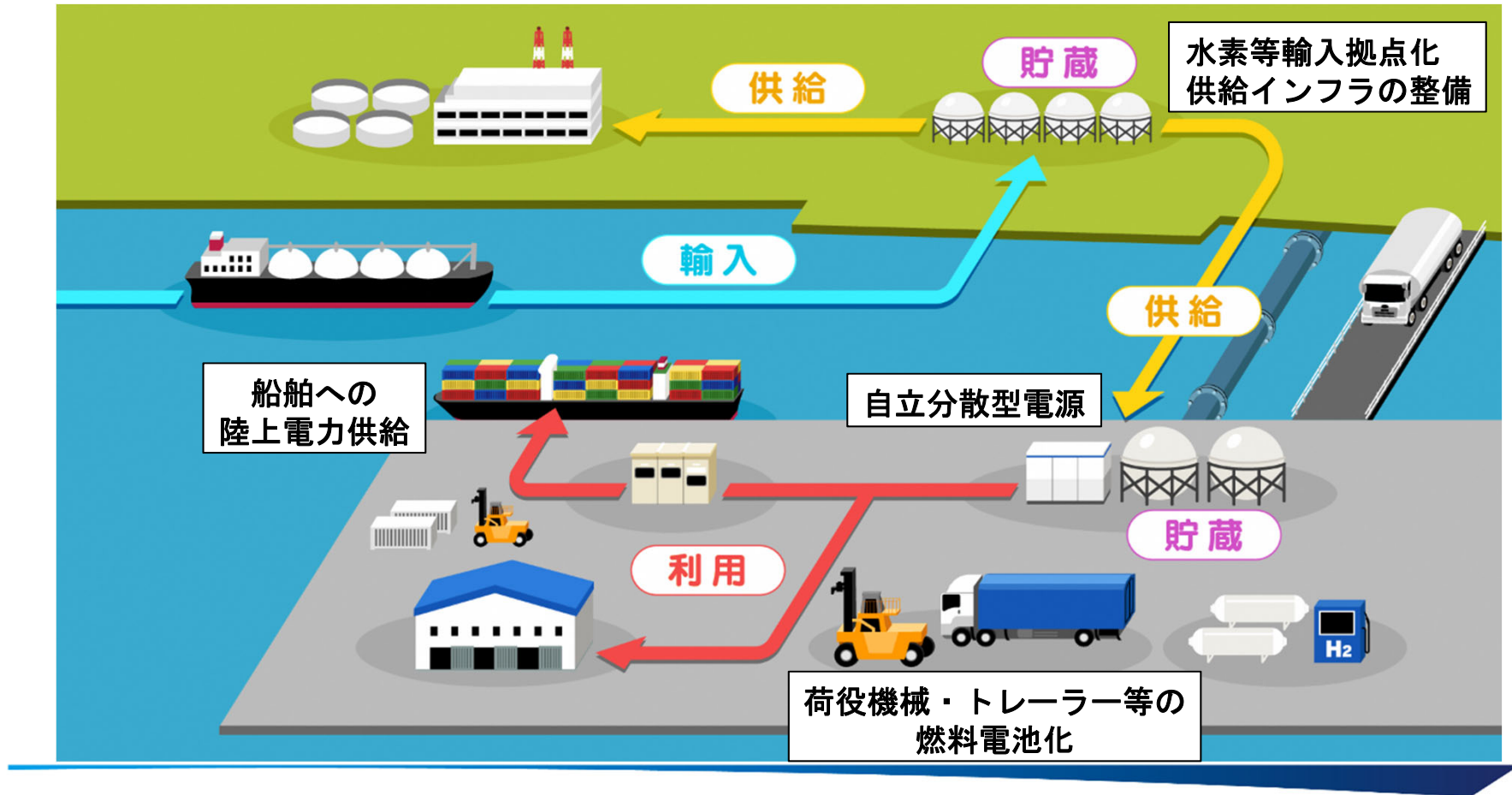
City of YOKOHAMA



7 カーボンニュートラルポートの形成

■ 横浜港におけるカーボンニュートラルポートの形成

2020年12月に国土交通省から全国7つの港の一つとして「カーボンニュートラルポート形成に取り組む港」に選定



あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



7 カーボンニュートラルポートの形成

■カーボンニュートラルポートとしての国際連携



2022. 5. 23 日米首脳会談



2022. 5. 24 日米豪印首脳会合

- ・カーボンニュートラルポート形成について日米協力
- ・日米両政府・ロサンゼルス港湾局と共に
港湾の脱炭素化に向けたワークショップを開催
- ・日米豪印首脳会談（QUAD）の枠組みで横浜・ロサンゼルス・シドニー・ムンバイの4港が連携、海運・港湾運営の脱炭素化を目指す

あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



7 カーボンニュートラルポートの形成

■ 臨海部における民間事業者等と連携した取組

○ LNGバンカリング拠点の形成（2016年～継続）

- ・ 国際競争力強化に向けて、水素等のゼロエミッション燃料へのブリッジソリューションとされる **LNG燃料供給拠点の形成**
- ・ **定係地の整備**やLNG燃料船・供給船へのインセンティブ制度を創設



あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



7 カーボンニュートラルポートの形成

■ 陸上電力供給設備の整備

- 2023年度は、全国に先駆け、本牧ふ頭のA4公共岸壁において、内航貨物船を対象として、停泊中に必要な電力を供給する陸上電力供給設備の整備を予定

■ 民間事業者等による脱炭素化に向けた取組

- 横浜川崎国際港湾株式会社（YKIP）と横浜港埠頭株式会社（YPC）による再生可能エネルギー由来の電力を使ったターミナル運営
- 大黒ふ頭自動車ターミナル事業者による再生可能エネルギー由来の電力を使ったターミナル運営
- 全電気推進タグボートの運航やアンモニア燃料タグボートの実証運航
- 将来の水素燃料電池方式へ換装可能な荷役機械（RTG）の導入
- 環境配慮船へのインセンティブ制度の実施



【ハンブルク港におけるクルーズ船への陸上電力供給の様子】



【アンモニア燃料タグボート(イメージ)】
日本郵船株式会社 提供



【全電気推進タグボート】
東京汽船株式会社 提供

あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

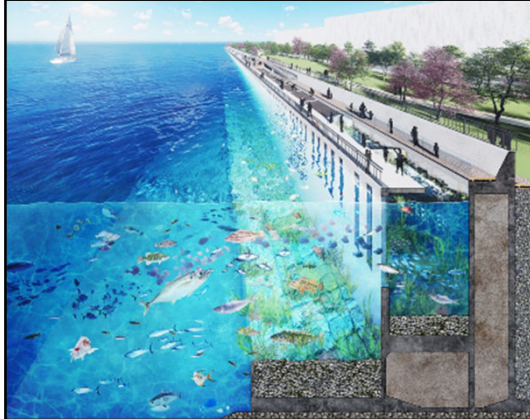
City of YOKOHAMA



7 カーボンニュートラルポートの形成

■豊かな海づくりと市民との連携

○新本牧ふ頭における生物共生型護岸の整備



○市民連携による活動



○藻場・浅場の形成、「ブルーカーボン」の推進



あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



7 カーボンニュートラルポートの形成

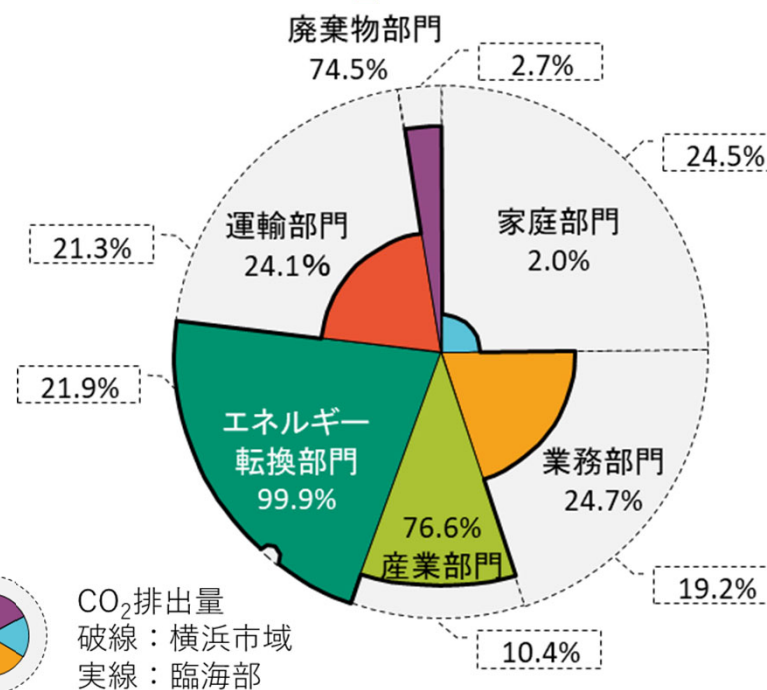
■ 横浜市臨海部から排出される二酸化炭素排出量

- ・ 横浜港は、埠頭における**物流機能**に加えて、京浜臨海部・根岸地区等における**生産機能**、都心臨海部等における**観光文化機能**を持つ
- ・ これらからなる「横浜市臨海部」から排出されるCO₂排出量は横浜市域全体の**約4割**に当たる

横浜市臨海部から排出される二酸化炭素排出量 (単位:万トン)

2019年度 (令和元年度)	臨海部		横浜市域		臨海部/ 市域
	排出量	構成比	排出量	構成比	
エネルギー転換部門	385.0	51.9%	385.5	21.9%	99.9%
産業部門	139.0	18.7%	181.5	10.4%	76.6%
業務部門	83.1	11.2%	336.4	19.2%	24.7%
運輸部門*	90.5	12.2%	375.0	21.3%	24.1%
廃棄物部門	35.9	4.8%	48.2	2.7%	74.5%
家庭部門	8.7	1.2%	431.1	24.5%	2.0%
合計	742.3	100.0%	1,757.7	100.0%	42.2%

※停泊中の外航船舶からの排出量19.0万トンを含む。



あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



7 カーボンニュートラルポートの形成

■ 横浜港カーボンニュートラルポート臨海部事業所協議会

脱炭素化を効果的に進めるため、事業規模が大きく、CO₂排出量の削減や水素等次世代エネルギーの活用等環境対策に熱心に取り組まれている臨海部の事業者と学識経験者及び行政機関が情報共有し連携しながら、脱炭素化に向けた取組を促進することを目的として設立

第1回協議会開催 2022年8月25日(木)



あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



7 カーボンニュートラルポートの形成

■ 構成

構成員 オブザーバー		企業名・団体名・氏名（敬称略）
構成員	企業・団体 (15者)	AGC株式会社、ENEOS株式会社、 エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社、 株式会社扇島パワー、JFEスチール株式会社、 株式会社JERA、電源開発株式会社、東亜合成株式会社、 東京ガス株式会社、東芝エネルギーシステムズ株式会社、 日産自動車株式会社、日清オイリオグループ株式会社、 株式会社日立製作所、横浜市、公立大学法人横浜市立大学
	学識経験者	国際大学副学長・大学院国際経営学研究科教授 東京大学・一橋大学名誉教授 総合資源エネルギー調査会基本政策分科会委員 橘川武郎 公益財団法人地球環境戦略研究機関（IGES）研究員 栗山昭久
	関係行政機関	国土交通省関東地方整備局
オブザーバー		経済産業省関東経済産業局 国立研究開発法人新エネルギー・産業総合開発機構（NEDO） 川崎市臨海部国際戦略本部・港湾局
事務局		横浜市港湾局・温暖化対策統括本部

あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

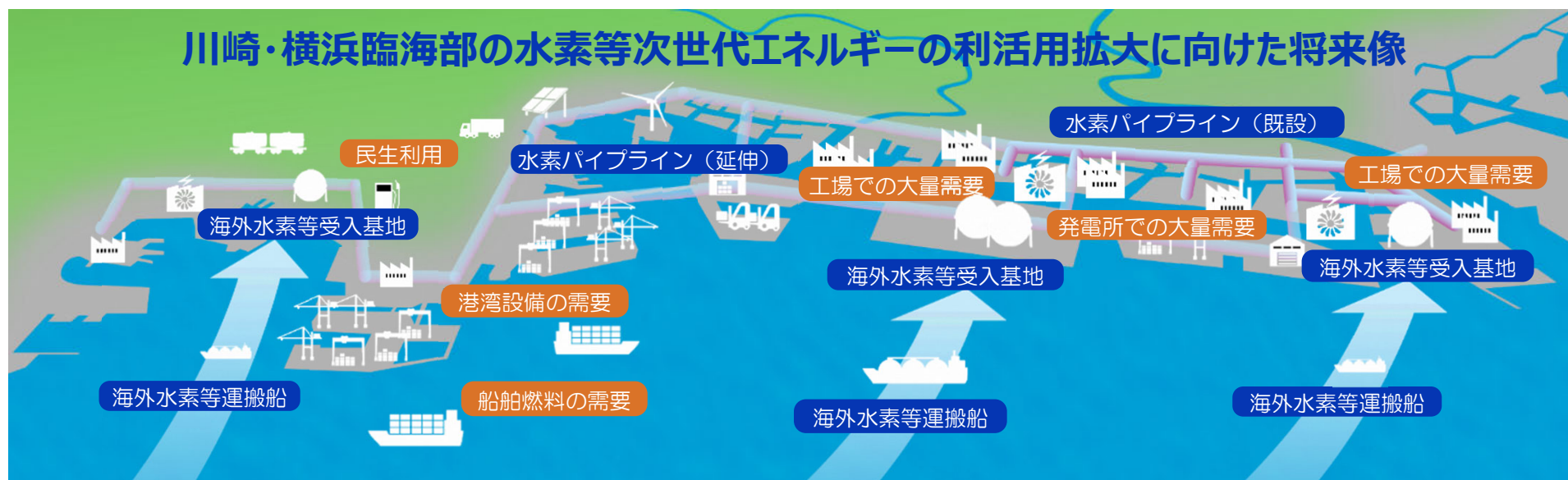
City of YOKOHAMA



7 カーボンニュートラルポートの形成

■川崎市と横浜市の連携強化

川崎市と横浜市は、地域経済の中核を担う臨海部においてカーボンニュートラル化を実現しつつ、産業競争力を維持・強化していくため、**水素等の次世代エネルギーの利活用拡大に向けた連携協定を締結**（2022年7月26日）



あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



7 カーボンニュートラルポートの形成

■横浜市として注視する国の動向

経済産業省：水素政策小委員会・アンモニア等脱炭素燃料政策小委員会合同会議

水素・アンモニア供給インフラ整備への集中的な先行投資

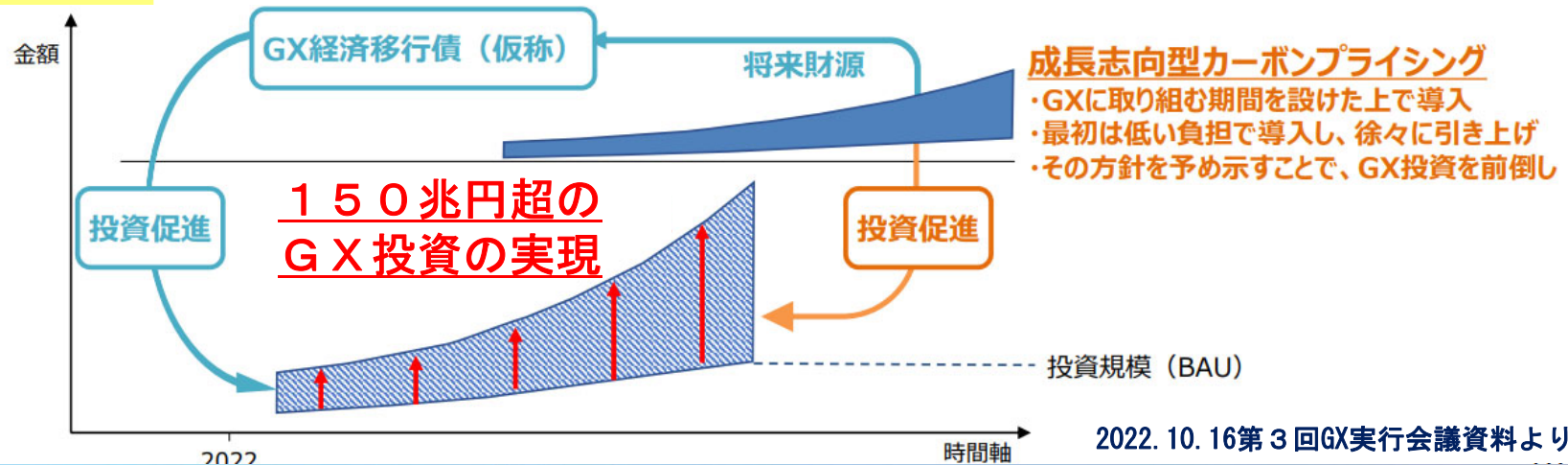
先行モデル地域を戦略的に創出

サプライチェーン支援制度における評価項目（案）

<今後10年間程度で整備する拠点数(仮説)>
大規模拠点：大都市圏を中心に3か所程度
中規模拠点：地域に分散して5か所程度

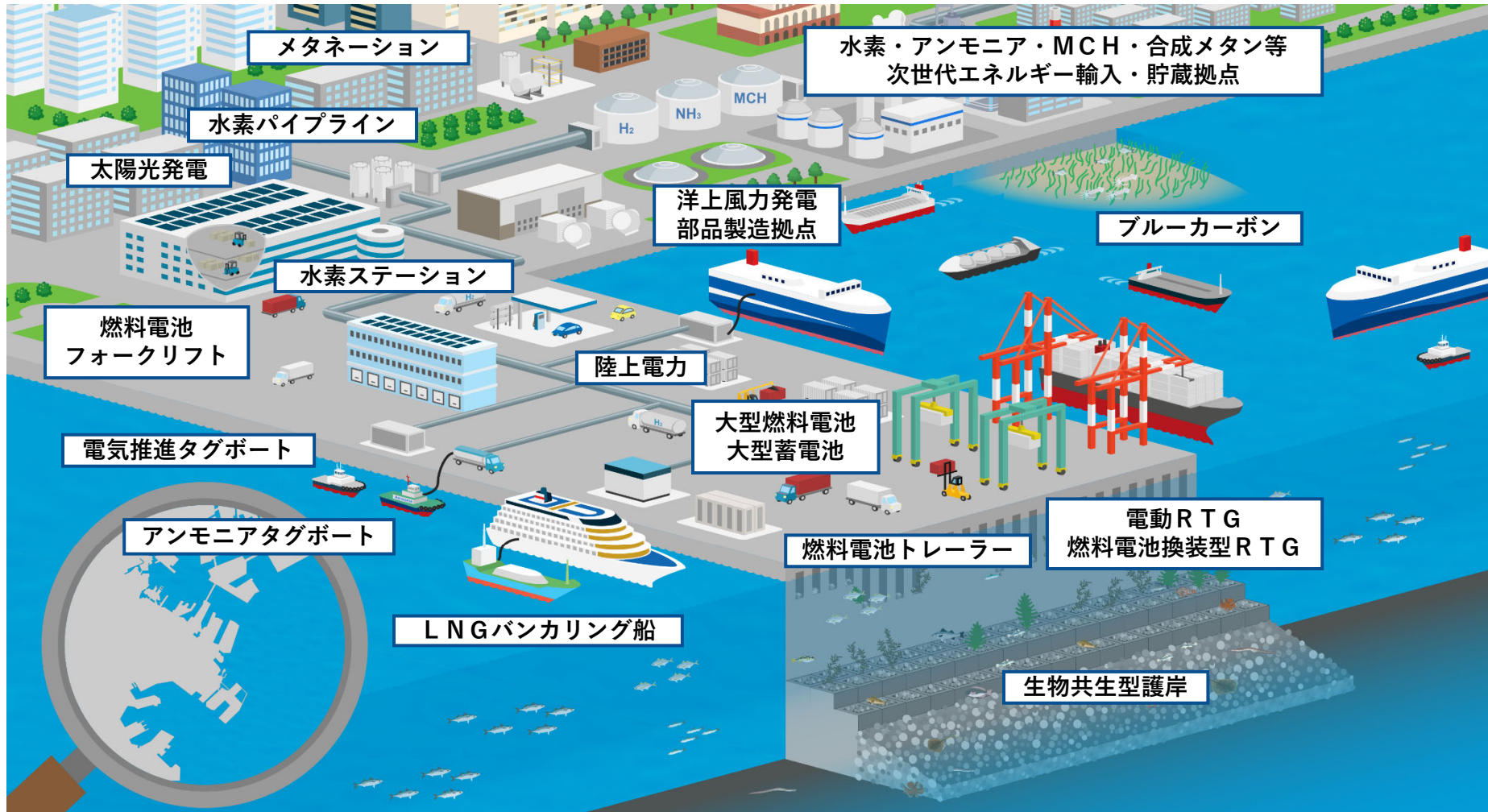
- ①安全性
- ②安定供給
- ③環境性
- ④経済性
- ⑤事業実現の可能性
- ⑥経済・産業への波及効果

内閣官房：GX実行会議



7 カーボンニュートラルポートの形成

■ 横浜港におけるカーボンニュートラルポート形成のイメージ



あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA





ご清聴ありがとうございました

あらたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA

